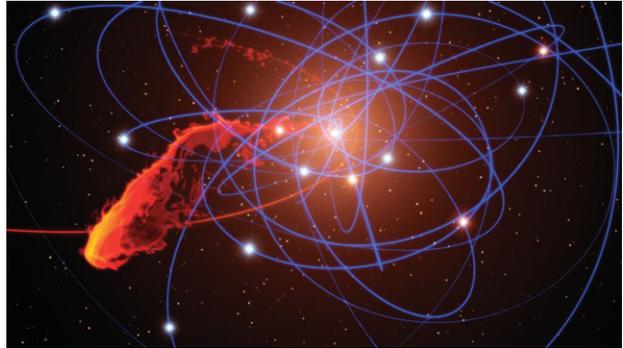






ンです。銀河中心では星も密集していて、巨大ブラックホールの周りをぐるぐる回っています(青白い線)。そこにオレンジ色のガスのかたまりが、引き伸ばされながら近づいています ([©ESO/MPE/Marc Schartmann])。



ブラックホールに近づきすぎるとどうなるか、シミュレーションでしか見たことのないような光景を、人類は初めて目撃することになります。今から楽しみです!  
★<http://www.eso.org/public/news/eso1151/>

### 古いブラックホールの突然の増光

このように、ブラックホールに星や星雲が近づくと、渦を巻きながら落ちていきます。実は、この渦が明るく光るので、ブラックホールがそこにある、と分かるのです。

逆に言えば、エサが無い時のブラックホール(つまり、星や星雲を吸い込んでいない時のブラックホール)は、おとなしくしているため、存在が分かりません(暗くて見えません)。

X線観測衛星チャンドラが、うみへび座にあるM83銀河で、突然明るくなる点を発見しました(図右側の下の



明るい点[©ESO/VLT; NASA/CXC/Curtin University/R. Soria et al., NASA/STScI/Middlebury College/F. Winkler et al.]。)

ここ10年間で明るさが3000倍にもなったのですが、このような現象はこれまで観測されたことがありません。研究者たちは、古くておとなしかったブラックホールに突然エサとなるガスが降ってきて、明るくなったのだろうと考えています。

★[http://www.nasa.gov/mission\\_pages/chandra/news/H-12-139.html](http://www.nasa.gov/mission_pages/chandra/news/H-12-139.html)

石坂 千春(科学館学芸員)